

月	日	( ) 曜	( ) 時限	検印
---	---	-------	--------	----

## 2 生育のあらまし

ダイコンは幼根<sup>ようこん</sup>がそのまま伸長して直根<sup>ちようこん</sup>（主根）を形成する。そして、短い茎に多数の葉をつけ、直根に養分を蓄えて肥大する

### 生育の経過

ダイコンは種まきから収穫まで60～80日かかる。種子は3日くらいで出芽<sup>しゅつが</sup>し（発芽して地上に子葉が出る）、本葉を放射状に展開しながら直根がゆっくりと伸長する。

種まき後約20日すると直根の初生皮層<sup>しよせいひそう</sup>はがれ、直根の肥大が始まり、根は深く伸び、葉の生育もさかになる。

生育後半になり、抽根<sup>ちゆうこん</sup>といって直根の上部が地上に伸びあがってくると、直根は急激に肥大し収穫にいたる。（※初生皮層はく脱は p29、抽根は p34を参照）

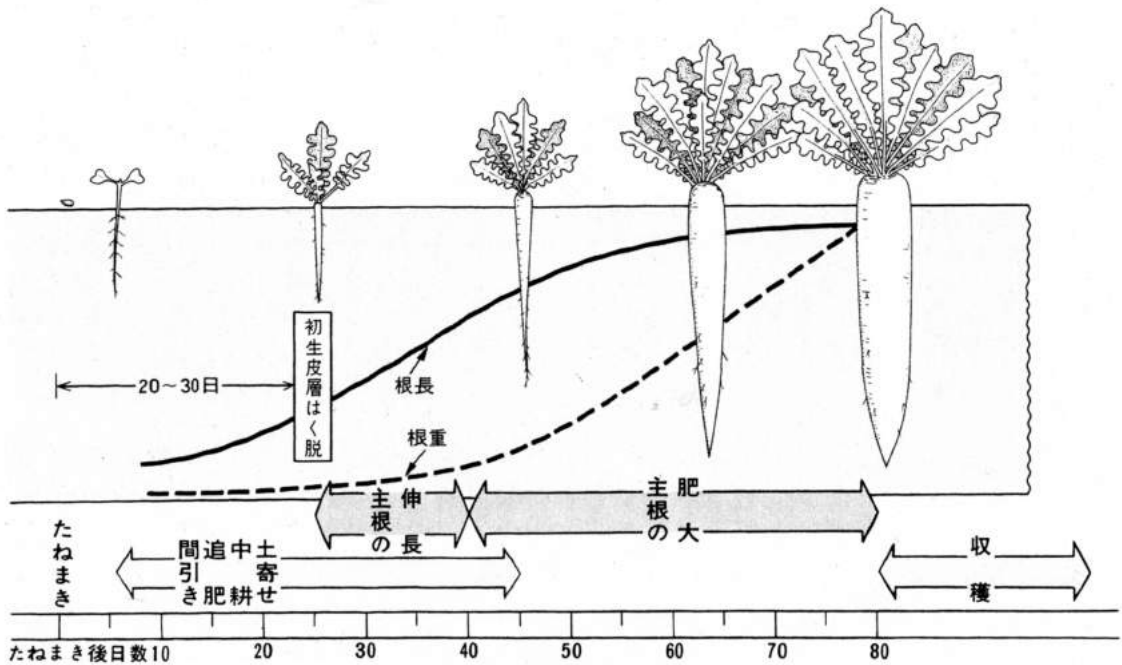


図1 ダイコンの生育とおもな作業（『農業基礎』農文協）

## ●ダイコンの根はどの部分？

食用とする根部は、植物学的に**胚軸**と根からなっている。胚軸部は表皮がすべすべしていて側根がない。根にあたる部分は主根から**側根**が伸びているか、そのこん跡がみられる。ダイコンの場合、胚軸も根の部分といっしょに肥大する。

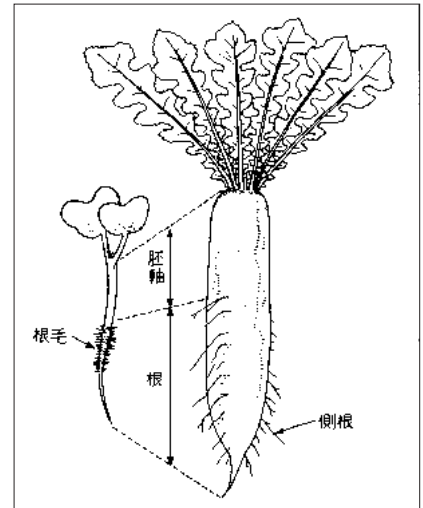


図2 ダイコンの根部  
(『野菜』〈1993〉農文協)

## ダイコンの生育と環境

### 温度

冷涼な気候に適し、比較的暑さに弱く寒さに強い。生育適温は生育時期で異なり、生育初期は高温にもよく耐えるが、生育が進むと生育適温は徐々に低下し、生育後期になると10～16℃となる。ただし根の肥大は4℃以下で停滞する。

表1 ダイコンの生育に適した環境

発芽適温	15～30℃
生育適温	20℃ 前後
根部の肥大適温(地温)	16℃ 前後
生育限界温度	4℃ 以下
好適土壌 pH	5.0～6.5

### 土

**耕土**<sup>こうど</sup>が深く、保水力があり、排水のよい柔らかい土質がダイコン栽培には適している。pHは5.5～6.5とされているが、比較的酸性には強い。重粘土のかたい土や、排水不良の土は本来、不向きで栽培の工夫が必要である。(耕土とは、土の表層で、耕うんして根が伸長する層のことをいい、20～30cm あるとよいとされる。)

土の性質に応じた品種の選択が大切である。砂壤土や火山灰の耕土が深く柔らかい土壌では三浦や練馬ダイコンなどの根の長い品種が適し、耕土が浅くかたい土では高うねにしたり、抽根性の高い品種や聖護院などの根が短い品種が適している。(※品種についてはp10参照)

メ モ

## 10 種子と発芽 (生育1)

### 種子

ダイコンの種子は、偏球形（不整形な球形）で、赤褐色のものが多く、種子は種皮・子葉・幼根からなり、胚乳が退化した無胚乳種子で、発芽に必要な養分は子葉にたくわえられている。（種子には胚乳に養分をたくわえた有胚乳種子と、胚乳を持たない無胚乳種子がある。）



図1 ダイコンの種子

### 発芽

種子の発芽には、水・酸素・温度の3つの条件が必要である。発芽適温は15～30℃と幅広く4～35℃の範囲なら発芽する。ダイコンは野菜の中では発芽力が高く、種子は水分を吸収すると、24時間ほどで幼根が種皮をやぶって発芽する。つぎに子葉が出て、3日ほどで出芽する（地上に子葉が出る）。

幼根は伸長して、先端付近に細かい根毛を出し、養水分の吸収を行う。子葉はハート形で、開くと葉緑素があらわれて緑色になり光合成を行ない、子葉の役割は大きい。

なおダイコンの種子は、ハクサイ・キャベツなどが好光性種子こうこうせいなのに対し、暗い方が発芽がよい嫌光性種子けんこうせいである。

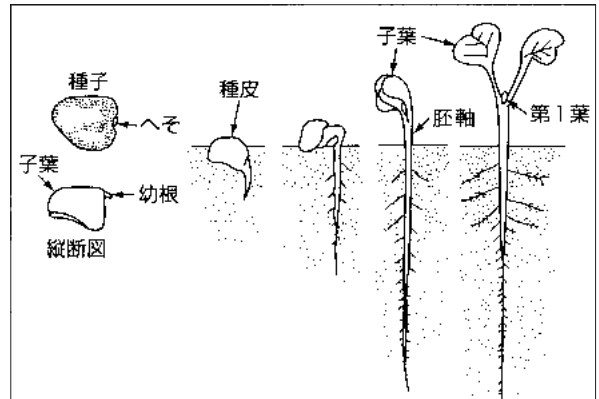


図2 ダイコンの種子と発芽  
（『農業と環境』農文協）

#### ■種子のスケッチをしよう

#### ■発芽した子葉をスケッチしよう

## 〈写真でみるダイコンの品種〉

### 青首ダイコン

根の上部が緑色になる。  
現在の主流品種である。

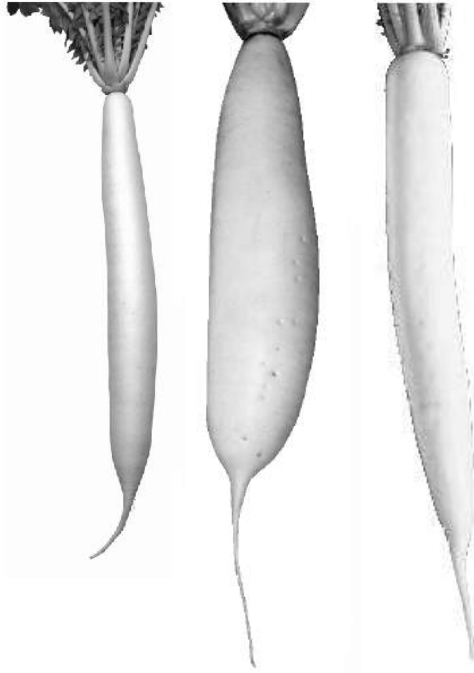
### 白首ダイコン

根がすべて白い。  
たくあん漬けにも多く利用されている。

### 守口ダイコン

世界最長のダイコン。  
長さは1m以上、太さは3cm前後になる。

### 練馬ダイコン 三浦ダイコン みの早生ダイコン



### 桜島ダイコン

桜島の火山灰土で生育する  
世界最大のダイコン。



### 聖護院ダイコン

伝統的な京野菜。



### ラディッシュ はつか (二十日ダイコン)

ヨーロッパ系の小型  
ダイコン。



写真提供：みの早生大根・聖護院大根はタキイ種苗、  
三浦大根は三浦市農業協同組合、  
桜島大根はグリーン鹿児島農業協同組合、  
他は農畜産業振興機構

## 24 プロジェクトのまとめ

### 1 栽培の概要

プロジェクト名			
プロジェクトの目標			
実施場所・面積		作 型	
品 種 名		早晩性	
品種の特性			
種まき日		収穫日	
主な栽培方法	【マルチング有無】 マルチング ( する ・ しない )		
	【栽培様式】 ( ) 条まき		
	【種まき方法】		
調査・観察項目			
備 考 欄			

## 2 栽培の実施

### (1) 担当区模式図

○印は種まき位置

栽植様式

担当区面積 ( ) m<sup>2</sup>

うね幅	cm	( ) 条まき	条間	cm	
株間	cm	床幅	cm	通路幅	cm
1カ所 ( ) 粒まき		種まき ( ) カ所 / 1区			

### (2) 施肥設計

(面積 ) 単位 : kg

肥料名 (%)	元肥	追肥	成分量		
			N (窒素)	P (リン酸)	K (カリ)
合計					